＊スクーリングはGA74のテキストで行います。FC72で履修している方にはスクーリングの受講許可後GA74のテキストを配布します。
この対応は2025年度限りです。詳しくは８ページをご参照ください。

教養教育科目　講義科目

科目名： 基礎英語Ⅱ		科目コード	GA74
		単位	2
科目主査： 日吉 佑太	担当講師： 日吉 佑太	配当年次	1

授業の目的と概要	グループワーク： ☐ あり ☑ なし	個人ワーク： ☑ あり ☐ なし

物語、エッセイ、新聞記事からビジネス・レターに至るまで、様々なトピックの教材に接することで、英文法や語彙の定着を目指します。「基礎英語Ⅰ」の履修を踏まえて、全体的にテキストの難易度が高くなっていますので、一つ一つの事柄を丁寧に説明し、実際の使い方にも数多く触れていきます。また教材を通して、英語を母語とする文化の人々と日本人との発想の違いや、文化的背景を知ることも大きな目的です。

履修の前提となる科目	☐ あり ☑ なし	科目名：
履修の前提となる知識 その他特記事項	「基礎英語」という名称ではありますが、英語は積み重ねが大切な科目です。簡単で良いですので、高校初級までの英文法を復習しましょう。またReading, Conversationの本文に目を通しておくと良いでしょう。	
テキスト	『基礎英語Ⅱ』坂本 和光(監)他,産業能率大学,最新版	

この科目の 到達目標	①様々なトピックの英文読解を通して語彙力・文法力を身につける。 ②会話でよく使う表現に触れ、それを実際に活用することができる。 ③英語で書かれた新聞記事を理解するための基礎知識を身につける。 ④言語と文化の関係について、幅広く興味を持ち、理解を深めることができる。
成績評価 の 方 法	1日目終了後の課題、及び最終試験によって成績評価を行います。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。
事後学習	現在の自分の英語運用能力と照らし合わせて、ちょうど良いレベルのもの、少しだけ高いレベルの教材を読んだり聴いたりすることを継続的に行なっていきましょう。その際、教材のレベルに合わせて「精読(聴)」「多読(聴)」を使い分け、自分に合った学習方法を常にアップデートしていくことを心がけてください。
事後学習の 参考文献	『ハートで感じる英文法 決定版』大西 泰斗・P. マクベイ、NHK出版、2018年 『どんどん話すための瞬間英作文トレーニング』森沢 洋介、ベレ出版、2006年 『英語は3語で伝わります: どんどん話せる練習英文100』中山 裕木子、ダイヤモンド社、2018年

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑英和辞典（和英・英英も可/オンライン辞典でも可。但し長期的に英語学習をする場合は、紙の辞典推奨。）
☑カメラ・マイクは必須となります。